

平成 23 年 9 月 10 日

東京フォーラム

於：湯島聖堂

**中斎塾 東京フォーラム
平成 23 年 第 7 回講話**

お早うございます。

関根さんが人事異動で中斎塾フォーラムから離れました。季刊誌知足の原稿を皆様にお願ひしまして、それからホームページも御協力を仰ぐと云う事で、それなら委員会を立ち上げようとなりました。ホームページも季刊誌知足も編集委員会を立ち上げ、委員長をお願いし、スタートをした次第です。有難うございます。

10 月 1 日発行の知足は、これは委員長が輪番制でやっていく形を取らせて頂いて、今回の 10 月号は北関東フォーラムが担当。新年号は東京フォーラムの担当になりますので、どうぞ宜しくお願ひ致します。

その関根さんは今、どうしているかと云えばガーナにいます。7 日に出まして、17 日に帰って来ます。帰ってきたら、ガーナの話でもして貰おうかと思っています。

今回の知足のリレー随筆を先に読ませて戴きましたら、学ぶとまねる。印象に残っているものは、徒弟制度の最初に師匠について宝石の技術を学んだ時に、お休みは月に 2 回で、他の休みは盆休み 2 日と正月 3 日、休みが非常に少ないなと感じました。技術を習得する時に、師匠に聞く、うまくいかない時はピンタが飛んで来ると書いてありましたので、これは凄まじいなと思いました。次号は偉い人達の文章が消えまして、身近な人達の文章が増えました。

或る日突然、ポツとお願い事が出るかもしれませんが、その時には原稿を書いたり、サラッと素読をしたり。(サラッとではないのかな?)でも、全体的には落ち着いたトーンで、良く出来たなど、安心して読むことが出来ました。

今回はお休みを戴いたので、赤城にこもりました。9 月会社に出てきたら郵便物が沢山ありましたし、社内も色々進展していました。

本を会員さんから戴きました。有難うございました。中身はここで話しているのと同じような感じでした。<引き寄せの法則> 言い方を変えると、人生成功の秘密。

外国の方が成功した人達のインタビューをしていたら、共通の法則があった。共通の法則は成功の秘密で、別名引き寄せの法則という。それは、私がここで話しているものと、同じではないかという気がしましたが、触りを申し上げますとフォーラムの時に皆さんに恒例の質問をしますが、あの中に入っていました。

「嘘をつかなかったか?」「昨日はよい日だったか?」その中で、「明日夜寝る時に、今日一日は良い日だったな」と過去形で、「また明日は良い日だったなと思えるかどうか

か」

明日の事を良い日だったなとイメージ出来れば、安心して眠れると云いましたが、それと同じ事で、良かったなと過去形で自分がワクワク楽しくて素晴らしいというイメージにられるか、又は、浮かぶかどうか。浮かぶ様にイメージをしていて、その中に含まれているイメージができる、引き寄せの法則で常に良いものがドンドン寄って来る。そういう内容の本でございました。「とはいってもどうせ、私の事だから...」と思うと全部消えてしまうというのが、少なかったかなと云う気がしました。

例えば、このテーブルに置いてある水、私は一日に2回は飲もうと思っています。飲んで美味しかったなというイメージを飲む寸前に思う。実際に水が口の中に入る。入ったら引き寄せの法則になる。

これが、半身不随で、なかなか飲めなかったとします。美味しかったというイメージが、手が不自由な人の場合は大変な事になる。なかなか飲めないなと思っていると、飲めないと云うイメージが先に立つから、いつまでたっても飲めない。ところが、半身不随の人が飲んで嬉しいなと思うイメージを持ち、水を見ていると、その内に自然と水が飲めるという話です。

いつもの恒例の質問

私は、夏休みを取りたいと10年ぐらい前に会社の中で言っていたら、会社の中ではとんでもないと返事が返ってきましたけれど、今とんでもないと言っていた人が退職をしまして、それからは誰も反対しなくなりました。実際に休みだして、5年ぐらい経ちますが、1ヶ月間お休みをとるようにしています。

この間のフォーラムの時にお話をしましたが、1ヶ月休まなくても、8月のお休みが取れた方、又は二日以上の方はどれ位おられますか？

...はい、有難うございます。

お休みが1日だけでも良いと思われるのですが、2日続けて休むのと、1日だけの休みだと、物理的・肉体的・精神的に違うような気がします。

8月はお休みでしたが、8月は嘘をつかなかったと言える方？

...はい、有難うございます。

今回、ちょっと嘘を付いてしまったなという方は？

...ちょっと多いかな？嘘をつかないと気持ち良く眠れて、朝の目覚めが良いと云う事ですので、日々嘘をつかないように過ごされる事をお勧めします。

次に、「有難う」と云い、「有難う」と云われましたか？

...これは、ほとんどの方が手を挙げられた。

やはり、有難うと云われるのは良い事ですね。ただ、私は8月は有難うと云われるのが少なかった。何故かと云えば、赤城にこもっていたので、会話をする人が全然いませんでした。有難うと云われのは人様とお会いしないと返って来ないなと思いました。

やはり人と会うのは必要な事だと感じました。

今、現時点で自分なりの健康法がある方、実践されている方？

...はい、有難うございます。55歳過ぎたらお勧めです。60歳過ぎたら必須です。

私の母親は今月で95歳になります。朝起きた時に、体中をマッサージしているそうです。体をさするそうです。寝床で手を動かしたり、足を動かしたりして、体中に刺激を与えて、起きると云う事です。御年配の方の話を聞いていると、自分なりの健康法を持っていて、自分なりに毎日実践している。毎日というのがポイントらしいです。良い事だなと思います。

歳を重ねると、食べるものも減ってくる。お昼時に石川忠久先生に時々会うのですが、紅茶2杯と、小さいサンドウィッチが二つぐらい。

「先生、それで足りませんか？」と聞くと「充分足りる」と返事が返ってきます。

段々、歳をとると、食べるものが減ってきますが、それでエネルギーが充分間に合う。私も若い時はたくさん食べましたが、今では、小さいご飯茶わんに減りました。

食べ物も、意識して変えないと、全体的に身体に出る様ですから、意識して変えていく事が必要であると思いました。私も実感します。

赤城にこもっている時に、色々と整理をしていました。その中に開かずの段ボールと云うものがありまして、段ボールがゴソッと置いてあるのです。それを開けて見ると、高校時代の頃からの写真・手紙がごっそり入ってしまっていて、やむなく1枚1枚チェックをしていき、その中に父親が亡くなった時の葬儀の資料が色々ありました。処分してつくづく感じたのですが、父親の葬儀の資料は、その時は整理が出来ませんでした。5年経って整理しようかと思ったけれど、出来ない。10年経っても出来ない。17年ぐらい経ち、心の整理が出来て、遺品や色々頂いたものが整理出来ましたので、これは時間が経つと整理できるものだなと思いました。整理をする時に、氣をつけたのは、本がギッシリ詰まっているものは、ひょいと持ちますと、ぎっくり腰になりますので、整理の仕方も変わってきました。

私なりの健康法は、身体を動かすと同時に、食べ物の調整をした方が良いなと思い実行することです。

自然に学ぶ

木内孝さんの<これからの時代>と云う資料を見たのですが、蜜蜂の話は役に立ちますね。

オス蜂は、交尾したらお役御免で死に、女王蜂は2年~3年毎日卵を産み続けるというので、大したものだなと思いました。私は今まで働き蜂はオスだと思っていたら、メスなのですね。メスの働き蜂の寿命は約1ヶ月と書いてありますけれど、蜜蜂というのは女性社会なのだなと思いました。

蜜蜂 5 千匹でスタートして、今では 4 万匹、2 ヶ月で 24 k g のはちみつが取れるそうで、大したものだなと思います。木内さんに誘われて御自宅に伺い、その蜜蜂を見ました。庭の真ん中位にミツバチの巣が有りますけれど、色々なものが寄って来ていました。

庭の世界も色々な戦いがあるようです。

私が赤城にこもっていると、スズメバチがいるので、それを捕まえようとペットボトルの仕掛けをあちこちにぶらさげていまして、その中にスズメバチが沢山入ります。でも、蜜蜂も入っています。そうすると、そのペットボトルの小さい中でスズメバチが蜜蜂を捕まえ、殺して肉団子にして、エサにしている。最近、オオスズメバチが少なくなったと思ったら、キロスズメバチ、オナガスズメバチが入るようになりました。スズメバチも色々な種類がある様で、ちょっと身体が大きいスズメバチは他のスズメバチを殺して、エサにしたりします。オオスズメバチは学習能力があるらしくて、一回捕まえた肉団子を持って、自分の巣に帰って行く。そうすると 1 匹帰ると何匹もやってくる。他のペットボトルからも同じ様に飛び出して行くと云う事がありました。だから蜂も学習するし、他のペットボトルに捕まっている蜂にも連絡する事が出来るのだなというのを感じました。

今日のテーマは<自然に学ぼう>と云う事で身の回りにある事を、よく観察するとハッと云う様な気が沢山ございます。そういう事で日々過されると良いでしょう。

今日の論語

6 曾子曰く、以て六尺の孤を託すべく、以て百里の命を寄すべく、大節に臨みて奪うべからずは、君子人か、君子人なり。

一尺は 2 歳半を意味しますから、六尺の孤と云うのは、15 歳頃の父を失った子と理解をすれば良いでしょう。

百里の命は、百里というはその国家が治めている、面積。方百里と云う国家を司る。そこで政治を司る事が出来ると解釈をすれば良いでしょう。

大節というのは、大きな事変、重大な事件。

こういう事件に臨んで、そういうものが起きてても、六尺の孤を託された人間は、志を変えさせる事はできない。

今でいけば、中堅企業の社長がぼっくり逝って、15 歳未満の子供が後に残されたが、おじさんか、又は大番頭がその残された社長の子供を助けて、会社をキチンと守ってゆく。そのような志を持って、実行する人は、君子人と言えようか。それは君子人と言えると云う訳です。

最近、社長の後継時に相談にのるのですけれども、近親憎悪が多くて困ったなと思うことが多いです。息子に社長を継がせたが、継がせた後で、親をないがしろにするのはどうしたものだろうか。身内同士だと、身内同士が争う場合が多いです。

社長の息子を社長にする努力をして、社長にしたけれども、今度は私の居心地が悪くなってきたという話になってきて、それから一・二歩進んで問題が起きてくる場合が多いなと最近思います。

君子人は中々いないなと思っています。自分が社長を次の人に任せる場合は速やかに、余計な未練を残さず、キチンとした方が良からうかと最近感じています。

7 曾子曰く、士は以て弘毅ならざるべからず。任重くして道遠し。仁以て己が任となす。亦重からずや。死して後已む。亦遠からずや。

「士」は、日本で云えば、武士だと思えば良いでしょうか。陽明学の点からゆくと、庶士と云う言葉を使います。

弘毅は心が広くて、毅は力が強くて、決断力がある。これは、社長と考えれば良いでしょう。トップリーダーというものは心が広くて力が強くて、決断力がある。お金が会社にならなくなったら、どこからか、お金を持ってくる。社員から見れば、スーパーマンと思われるような人でないと社長業は務まらない。そういう人の任は重くて、道は遠い。

仁を以て己が任と為す。仁徳の完成を以てその人の完成といえよう。そういう任は重くないとどうして言えようか。死ぬまでは続ける。死ぬまで努力するものだと言う風にここは読むと良いでしょう。中々こういう人はいない。でも我々もそういう方向に向かって努力するのは良いでしょう。

最近家庭で見ると、親が子供に殺されると云うことがあります。親を殺すと云うのは、力が強くて、腕力がある。親の方が下り坂で段々力が無くなっていく。親が子供を押さえつけるのは、今の時代難しくなってきたなと思います。

何か技を一つ身につけておくと、子供も尊敬するでしょうから、何か一つ身につけると良いと思います。子供が敵わないと思うものを一つもっているとそういう事に陥らないだろうと思います。

8 子曰く、詩に興り、礼に立ち、楽に成る。

詩に興り、というのは感性豊か。

礼に立ちは、社会人。

楽は、音楽。その当時、音楽を身につけると云う事は教養人の証でした。

<教養が身につけている人>このような人が今の世の中にいるのかな。孔子の頃は音楽を身につけるのは教養人と云う事でした。

明治の頃、渋澤栄一さんは「日本の音楽は体系が確立していないので、なかなか音楽を身につけても教養人とはいえない」と残しています。それをそのまま今の時代にも当てはまるものと思います。

9 子曰く、民は之に由らしむべし。之を知らしむべからず。

政治家が自分の背中を見せて、後に国民が付いてきてくれる。そのような政治家であれば、政治家としてまともだが、その後姿には自分の考えている事を、知らしめるのは困難だ、難しいな、寂しいなという寂しさが漂っているという風にここは理解をします。

10 子曰く、勇を好んで貧しきを疾むときは乱る。

この場合の勇は、決起の小さな勇氣。大塩平八郎を考えれば良いと思いますが、自分自身が貧乏、また周りの人も貧乏であり、その貧乏を広げている上司に、甚だしい憎悪を持つ事がある。そういう世の中に対して腹を立てた場合、たいがい反乱を起こすものです。

人にして不仁なる。人道に背くこと。人道に背いた人を憎む時は己甚だしきときは乱る。

これは自分達が、大学・高校を卒業して、勤められないと云う時は、その国は国が乱れているという風にとらえれば良いでしょう。

ですから、日本も高校生等が就職の道が閉ざされていると、特に今は東方地方ですが、就職できない人が増えれば増えるほど、日本も段々、暴動・反乱の根は広がっていくと思っています。周りを見渡して、そういう可能性が有りだと思つと、自己防衛をちょっとはした方がよい。今聞いていて、日本に暴動が起きる訳ないと思っている方おられますか？

向こう 10 年日本で暴動の様なものが起きる訳ないと思っている方？

...有難うございます。

起きるかも知れないと思う方？

...有難うございます。

半々ですね。私は、起きかねないと思っています。それは 10 年ないし、15 年内にとお考え下さい。

11 子曰く、如し周公の才の美有りとも、驕且つ吝ならしめば、その余は観るに足らざるのみ。

周公ほど優秀な才能は及ぶものでないと、捉える。

驕はおごりたかぶり。且つ吝はケチンボ。

非常に優秀な能力に恵まれていたとしても、威張り屋で尚且つケチであれば、お付き合いする事はない。お付き合いをしない方がよい。その他は評価するに足らないと云う風に考えれば良いでしょう。

結構いますよね、自分の能力を鼻にかけて、偉そうにしている人。

12 子曰く、三年学んで毅に至らざるは、得易からざるなり。

先程、素読をして戴いた時に、「得安からざるなり」得でちょっと切りましたけれど、この文章を理解する上においては、非常に良い読み方です。たいがい続けて読みますが、それも間違いではないのですが、ちょっと切ったことで意味が分かりやすくなります。

三年というのは、長い年月学んでという意味になります。

穀は就職活動。就職活動をしない人は、中々得難いものだと。必至に学んで、学ぶ事に熱中している人は学ぶ事に能力が付いているから、そういう人を見つけて、自分の所に呼んで来るがよかろう。これは、先ほどの引き寄せの法則と云ったものを活用すると良いでしょう。

13 子曰く、篤く信じて学を好み、死を守りて道を善くす。危邦に入らず。乱邦には居らず。天下 道有れば則ち見し、道なければ則ち隠る。邦 道有るに、貧しく且つ賤しきは恥なり。邦 道無きに、富み且つ貧きは恥なり。

厚く信じては、聖人の道を信じる。

学を好みというのは、一生懸命、勉強するというより、それが面白くて、読んでいるとワクワクしてきて、と云う風な感じで好むとしています。

この死に守り、死に至るまで、この道を守って道に外れない。

危邦には入らず、滅びようとしな。乱邦には居らず内乱にもいない。

その国がよく治まっている時に、貧乏で危険な状況である事は恥辱だ。その国に道義が無い、世の中が治まっていない時に、お金持ちになったり、地位が上がったりするのは恥辱であると言う事なのですが、今の時代に置き換えて見て、今の日本はどうでしょうか。この国に道有りや無しや。今の日本は道義有りや無しや、乱れているかどうか。

今の日本は、乱れていると思う方は？

...ありがとうございます。(挙手多数)

今の国でお金持ちになっていき、地位が上がるのは恥辱だと思えという事ですが、国が良く治まっている、今の日本は平和だと思っている方？

...有難うございます。

言い方を変えれば、身内から「何故家にはお金がないの？」と問われたら、「日本の国が悪いのだよ、乱れているから」そんな答えを言うと相手は煙に巻かれてしまいますが、その出典も言えるようになっていると良いでしょう。

お金がないと聞かれたら、人物は出来ている、今の時代では当たり前だと言えましょう。

14 子曰く、其の位に在らざれば、其の政を謀らず。

今の野田総理そのままですね。野田総理に限らず、総理大臣は概ねそうですし、総理大臣も1年ぐらいで回ってくるから、大人しくしている。大人しくしていないと回って来ない。まったく情けないと思っています。だからあまり出しゃばらないでいる訳でし

よう。

野田さんが、総理大臣で無い時は、あまりものを申さない方が良い。ただ、総理大臣になった時には責任ある立場にあるのだから、責任ある言葉を出し、実行していくべきだ。そのポストにない人が、余計な事を言うな、ポストになったら言えば良い。

今は力をだせるけれども、3ヶ月はハネムーンと云う事ですから、来年になって始めて力を出し始めていく。あの人は年内にそんなに地を出さない。だけど、ネタが割れていたらどんどん出てくる。今回のどじょうの話は、小沢さんの所から幹事長を取りたいから、一ヶ月前から打診を入れていてどじょうを使ったみたいですね。...すぐネタがばれない方が良いのにと思いました。その代わり、あいだみつおさんの所には入場者が増えたと、本も売れたそうです。あいだみつおさんの所は儲かったみたいですね。

15 子曰く、師撃の始め、関の乱り、洋洋乎として耳に盈てるかな。

この撃は名前です。音楽の楽師長になった時に、音楽を演奏したが、その演奏が良かったという話です。最初は詩経の初めの篇ですから、詩経の初めの篇を演奏した。

洋洋乎と云うのは素晴らしい。美しく素晴らしい、その声が耳に一杯になった。なんと音楽は素晴らしいのだろう。その当時の音楽は学問として、体系が確立している。音楽を完全に身につけるのは素晴らしい教養人と云う事の証です。

音楽は好きな方？

大好きな方？

...大好きになると挙手が下がるのは何故だろう。

好きも大好きもひっくるめて教養人、昔です。今とは言いません。でも、その素質はあると云う事です。

来年の干支

今年のご存じの通り辛卯（しんぼう）。来年は壬申（じんしん、みずのえたつ）というめぐり合わせになります。

今年のおさらいをします。今年は辛く、むごく、悲しい、苦しい。それが辛です。兔は卯の俗字です。この卯（ぼう）は生贄の羊を大量に殺し、供える。

今年、辛く、むごく、悲しく、苦しい年で、大量の人が死ぬめぐり合わせの年だという事を何回か申し上げました。今年、皆さま御存じの通りです。あと暮れに何かありそうな気がします。暮れに合わせて、何か気をつけておくと良いでしょう。そうすると、今年の予防は寝床に靴を置いて、そして頭を防備する。要はヘルメットを置く。私も寝床には、ヘルメットと靴は置いてあります。これは地震のあと寝床から出て歩き出す際、釘が刺さったり、ガラス等で怪我をしたりする事があるからです。

あと家族の単位で考えれば、最低限1日分の食料品等々のものは置いていた方が良いでしょう。自治体、国を信用していれば3日分の食料品等を用意して置く、国を信用し

ない場合は、最低 1 ヶ月。徹底的に不信の塊の場合は 3 ヶ月位のものを用意すると良いでしょう。今回、色々な人達の話聞いていましたら、用意はしてありました。「それで問題なかったですか？」と聞くと、「消費切れが多くありました」開けて見ても、やはり食べられないものが多くあったそうです。確認はした方が良いでしょう。

というのが今年。私が手帳に書いたものを見たら、平成 21 年の 11 月でした。プラスで書いたものが、リーダーが続々と出てくるけれども、力が弱くて皆弱いとあります。自分の手帳には、来年、続々出てきたニューリーダーがだいぶ脱落して、まあまあこの人かなと思う人が残るであろうと書いてありました。

壬申。ただ、こちらの方角だよと向くけれど、景気が良くなるかと云えば、そうならない。坂道転げ落ちるのはそのまま。

そうしますと続きで、22 年、23 年、24 年、25 年、26 年、27 年、来年はまあまあのリーダーが残りますが、そのリーダーが野田さんのままいくかどうか分かりません。新しいリーダーが出るかもしれませんが、一応、来年には、まあまあだと云う人が出てきて、その新興勢力が中心になって、日本の国を引っ張り始める。26 年になって、その勢力の反対勢力が現れ伸び悩んできて、どうにも苦しく、うまくいかない。どうにか 27 年で初めて、日本の国が復興の軌道に乗り始めて、乗る。それが周りにも見えてくるという事で、私はここら辺を絞って、4 年後に日本の国は上昇気流に入るという風に思っています。

自分で考えたものは会社で活用をしています。4 年間待ちぼうけを食らうと云うのはがっかりですけれども、日本の国はこれが底かと云えば、まだ底ではない。まだ底になっていないです。新しいリーダーが出る事によって、日本の国は変わってきますけれども、これは巡り合わせで、アメリカの動き方をよく見極めていないと、いけない。アメリカの動きによって、日本の国の揺れ動き方が凄まじく変わります。ユーロも当然影響を与えますが、やはりアメリカでしょう。私は、そこら辺に照準を絞っています。

嘘つきは泥棒の始まり

野田さんがうまくいかいかないかによって、これからの日本の先行きが見えるのですが、野田さんは小細工をしすぎます。どじょうの話は前からもっていたものですが、その話を一貫してもっていたのなら良いですけれども、余計なものが見えてきます。よく言えば氣配り。街頭演説を 25 年していたから、演説の仕方が上手になった。それで最後に票が入ったのだと感じます。ただ、あまりにも前の鳩山さんと菅さんが酷かったから、凡庸な宰相が生まれても、(大平さんも凡庸だと言っていました) 良さそうだ、期待できるなと思ってしまう。今のやり方は完全に自民党の亜流のやり方ですから、野田さんが素晴らしく政権を運営管理できるわけないと感じています。ですから、日本が野田さんによって急激に良くなるはないと思います。野田政権も早々と、経済産業相が福島県を視察した時、「死の町、ゴーストタウン」と失言をしています。これから、発言で叩かれる閣僚はどんどん出て来ると思います。

発言ミスも多く、後手後手に回る動きが多いと感じていますので、そんなに素晴らしい動きは出ない。

例えば、東日本大震災をうけ、日本の国の中で危険な場所を行政が調べ発表されています。前にも申しましたが、5月21日付けの読売新聞で、日本国内政府が調べていたら、危険な宅地が1千420ヶ所、危ないと思われる斜面・山49ヶ所。

発表はされていますけれど、対策を至急うてと新聞は書いてありますが、すぐにはうてないままでしょう。

東京都が西武グループから豊島園を買いたいと言っていますが、でもまだ東京都は金額を計算していないと言っていますが、そんなわけが無い。

みんな最初の出だしは嘘を吐く。東電も嘘を吐く、政府も嘘を吐く。日本の国は嘘だらけという気がします。でも、東京都もその土地を手に入れたら、10年掛かりで整備をし、避難をさせる土地を作る。その土地作りを10年間掛かってやるわけです。行政というのは後手後手に回るのが仕組みなのだと思わざるを得ません。

野田さんは嘘を吐かないで、少なくとも新政権を進めなければいけないと思いますが、今回の東電、政府の対応、嘘ばかり。

東電が原発で最初に嘘をついていますよね...

7月3日付けの産経新聞の記事で、福島原発で2週間放射能が出て、二十日前後に流れた風によって、拡散した方向は3方向ですから、円形ではありません。その風に乗って流れた地域が危ない。

日本の中でマグニチュードを計測するのは8.9ぐらいまでしか分からない。それ以上のものは外国のもので調べないと出ないと新聞記事で圧倒的に出ていたのです。私もそう思っていたのですが、そんな事はない。今日の新聞で、長野県松代市の気象庁精密地震観測室で、マグニチュード9以上のものを測る事が出来た。地震当日10分後にマグニチュード9以上と気象庁に報告をしていた。報告をしても、それを活かす仕組みが無かった。残念であるという記事が、今日は朝日新聞に出ていました。

色々なものが出ているけれども、それが伝わっていない。

他にも色々調べてみると、東電・政府も嘘ばかりついているというものが沢山出てきました。

嘘を吐くのは泥棒の始まりという事ですから、我々は嘘を吐かない事をしているわけで、それが<知足>です。

足るを知る。程々というところにいきます。

今回は<足るを知る>というものを具体的にして貰いたいとの意見が季刊誌にあったので、食べ物をベースにしながら掘り下げてみようかと思っています。

今回、日本の国は嘘を吐く人が多かった。仕組みとして嘘を吐く人が多かった。それから仕組みとして、報告されたものをキチンと受け止め分析して発表する仕組みが無かったので、キチンとした報告も出せない。結果として国民に対して嘘を吐いたという日

本の実態。

野田さんが良い方向に持っていけないと思うから、我々は我慢して、4年後に上昇気流に乗るまで自己防衛をしないといけないと思います。

そう思っていますので、自己防衛には意識して、努力して進めて下さい。